



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東
 コード番号 7809 URL https://company.kotobukiya.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	9,824	36.5	1,695	27.1	1,623	24.0	1,121	22.8
2022年6月期第2四半期	7,199	71.3	1,333	237.2	1,310	230.2	913	236.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期第2四半期	426.60		419.31					
2022年6月期第2四半期	350.29		342.55					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	12,282	5,715	46.5
2022年6月期	10,620	4,780	45.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 5,715百万円 2022年6月期 4,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2023年6月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 創立70周年記念配当 10円00銭

3. 2023年6月期の業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	22.4	2,400	2.7	2,310	△1.0	1,603	△1.1	609.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年6月期2Q	2,804,400株	2022年6月期	2,797,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年6月期2Q	171,067株	2022年6月期	171,067株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期2Q	2,630,057株	2022年6月期2Q	2,609,269株
------------	------------	------------	------------

(注) 期末自己株式には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2023年6月期2Q 101,600株、2022年6月期 101,600株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2023年6月期2Q 101,600株、2022年6月期2Q 101,600株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念に加え、ロシア・ウクライナ情勢に起因する国内外の経済活動への影響、急激な円安の進行及びエネルギー・原材料価格に高騰などにより、先行きが非常に不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社は世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP (Intellectual Property：キャラクターなどの知的財産) による製品開発に特に注力しました。

国内市場におきましては、オープンワールドRPG『原神』より2022年11月に「バーバラ」を発売。2022年12月には『にじさんじ』に所属するバーチャルライバー「叶」を発売。『ウマ娘 プリティーダービー』より「[夢は掲げるものなのだっ！] トウカイテイオー」を発売し、フィギュア製品の売上に貢献しました。自社IP製品においては2022年11月に『アルカナディア』より「ヴェルルッタ」を発売。2022年12月には『フレームアームズ・ガール』より「フレームアームズ・ガール アヤツキ」を発売。『創彩少女庭園』シリーズより「源内あお」を発売し、プラモデル製品の売上は好調に推移しました。また、プラモデル関連製品である『モデリング・サポート・グッズ』等も堅調に推移し、業績を牽引しました。

海外の北米地域におきましては、『BISHOUJOシリーズ』として展開する「ヴァンパイア美少女 モリガン」「ヴァンパイア美少女 フェリシア」の発売等により、フィギュア製品を中心に売上は堅調に推移しました。

アジア地域におきましては、『メガミデバイス』シリーズを中心に『アルカナディア』などの自社IPプラモデル製品が堅調に推移した一方、フィギュア製品の売上は伸び悩みました。

直営店舗による小売販売につきましては、店舗キャンペーンの実施や『にじさんじ』関連商品が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和に伴う訪日外国人客の増加により、売上は回復基調にあります。ECサイトによる通信販売につきましては、直営店舗限定商品や特典の開発を積極的に推進したことにより売上は好調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は9,824,953千円(前年同期比36.5%増)、営業利益は1,695,165千円(前年同期比27.1%増)、経常利益は1,623,992千円(前年同期比24.0%増)、四半期純利益は1,121,985千円(前年同期比22.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は12,282,443千円となり、前事業年度末に比べ1,661,886千円(15.6%)の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は8,458,832千円で、前事業年度末に比べ1,459,985千円(20.9%)増加しております。これは現金及び預金の増加945,950千円、売掛金の増加570,824千円があったことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は3,823,610千円で、前事業年度末に比べ201,900千円(5.6%)増加しております。その他に含まれる金型の増加140,100千円、その他に含まれる建設仮勘定の増加74,059千円があったことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は2,959,353千円で、前事業年度末に比べ444,721千円(17.7%)増加しております。これは買掛金の減少137,780千円があった一方で、短期借入金の増加350,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加222,686千円があったことが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は3,607,646千円で、前事業年度末に比べ282,421千円(8.5%)増加しております。これは長期借入金の増加264,232千円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は5,715,443千円で、前事業年度末に比べ934,743千円(19.6%)増加しております。これは配当金の支払いによる減少190,983千円の計上があった一方で、四半期純利益1,121,985千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ876,413千円増加し、1,298,990千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額570,824千円、棚卸資産の増加額223,925千円、法人税等の支払額592,110千円等の減少要因があった一方で、税引前四半期純利益1,623,992千円の計上、減価償却費444,603千円の計上、前渡金の減少259,742千円による資金の増加を主な要因として、955,120千円の収入となりました(前年同期は153,990千円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出600,315千円による資金の減少を主な要因として、693,256千円の支出となりました(前年同期は416,716千円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出900,000千円、長期借入金の返済による支出313,082千円、配当金の支払額190,479千円等による資金の減少があった一方で、短期借入れによる収入1,250,000千円及び長期借入れによる収入800,000千円等による資金の増加を主な要因として650,180千円の収入となりました(前年同期は311,141千円の収入)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年8月12日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細は、本日(2023年2月14日)公表しました「業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,963,654	2,909,605
売掛金	1,709,497	2,280,321
商品及び製品	1,074,985	1,361,958
仕掛品	571,024	507,366
貯蔵品	4,899	5,510
前渡金	1,185,866	926,124
前払費用	470,319	457,998
その他	18,598	9,947
流動資産合計	6,998,846	8,458,832
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,705,251	1,657,426
土地	802,784	802,784
その他(純額)	481,577	714,344
有形固定資産合計	2,989,613	3,174,556
無形固定資産	64,371	70,317
投資その他の資産	567,725	578,736
固定資産合計	3,621,710	3,823,610
資産合計	10,620,556	12,282,443
負債の部		
流動負債		
買掛金	511,229	373,449
短期借入金	100,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	489,797	712,483
未払法人税等	626,893	541,205
賞与引当金	61,003	63,375
その他	725,708	818,840
流動負債合計	2,514,631	2,959,353
固定負債		
長期借入金	2,880,624	3,144,856
株式給付引当金	13,450	18,937
退職給付引当金	141,915	148,279
役員退職慰労引当金	223,275	229,525
資産除去債務	20,773	20,861
その他	45,186	45,186
固定負債合計	3,325,225	3,607,646
負債合計	5,839,857	6,566,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,576	456,447
資本剰余金	417,076	418,947
利益剰余金	4,216,587	5,147,588
自己株式	△307,540	△307,540
株主資本合計	4,780,699	5,715,443
純資産合計	4,780,699	5,715,443
負債純資産合計	10,620,556	12,282,443

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,199,299	9,824,953
売上原価	4,337,480	6,360,690
売上総利益	2,861,818	3,464,262
販売費及び一般管理費	1,528,245	1,769,097
営業利益	1,333,573	1,695,165
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	332	345
受取手数料	65	48
助成金収入	400	209
保険解約返戻金	1,023	293
その他	1,231	780
営業外収益合計	3,052	1,677
営業外費用		
支払利息	15,682	16,232
為替差損	10,464	56,203
その他	428	414
営業外費用合計	26,575	72,850
経常利益	1,310,051	1,623,992
特別利益		
固定資産売却益	4,999	-
特別利益合計	4,999	-
税引前四半期純利益	1,315,051	1,623,992
法人税、住民税及び事業税	423,458	510,433
法人税等調整額	△22,405	△8,426
法人税等合計	401,052	502,007
四半期純利益	913,998	1,121,985

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,315,051	1,623,992
減価償却費	365,612	444,603
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,414	2,372
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5,332	5,486
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,980	6,363
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6,375	6,250
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△60,411	-
受取利息及び受取配当金	△332	△345
助成金収入	△400	△209
支払利息	15,682	16,232
為替差損益 (△は益)	25,359	37,933
固定資産売却損益 (△は益)	△4,999	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△624,846	△570,824
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△503,821	△223,925
仕入債務の増減額 (△は減少)	88,582	△137,780
前渡金の増減額 (△は増加)	△208,529	259,742
前払費用の増減額 (△は増加)	△76,103	12,574
その他	113,044	80,534
小計	459,239	1,563,001
利息及び配当金の受取額	338	355
利息の支払額	△15,780	△16,335
助成金の受取額	400	209
法人税等の支払額	△290,205	△592,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,990	955,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,199,757	△1,258,961
定期預金の払戻による収入	1,130,736	1,189,425
有形固定資産の取得による支出	△334,486	△600,315
無形固定資産の取得による支出	△16,478	△20,896
その他	3,269	△2,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△416,716	△693,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800,000	1,250,000
短期借入金の返済による支出	△800,000	△900,000
長期借入れによる収入	600,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△185,172	△313,082
株式の発行による収入	4,422	3,742
配当金の支払額	△108,109	△190,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	311,141	650,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,464	△35,631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,951	876,413
現金及び現金同等物の期首残高	445,723	422,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	466,675	1,298,990

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。